

2012年11月15日
イオン株式会社

電気自動車の普及促進に向け、新たなサービスが始動 WAONカードによる「EV充電サービス」を開始します！

11月16日（金）利用者募集をイオンレイクタウンよりスタート

イオンは、国内で初めて電子マネーカードを活用し電気自動車（以下、EV）やプラグインハイブリッド自動車（以下、PHEV）への「EV充電サービス」を導入しますのでご案内申し上げます。まず、11月16日（金）より、「イオンレイクタウンmori」（埼玉県越谷市）でイオンの電子マネー「WAON」カードへの利用者登録を開始します。2013年2月1日（金）に「EV充電サービス」をスタートし、順次全国へ拡大します。

この「EV充電サービス」は、イオンの電子マネー「WAON」カードを読み取り機にかざしていただくことでお客さまを即時に認証し、充電料金無料でタイムリーなEV充電が可能になるというものです。日本電気株式会社のEV/PHEV向け充電クラウドサービス及び認証用のマルチサービスリーダーライターを利用し、お客さまがより快適・便利に充電器をご利用いただくためのサービスを提供します。総合ファシリティマネジメントサービス（総合FMS）事業を運営するイオンディライト株式会社が、EV充電器の設置や施工、クラウドサービスを活用した充電器の稼働状況や利用情報の集約などをトータルで管理します。

イオンは、今年8月に発表した「イオンのe c oプロジェクト」（※）の一環として、グループの総合力を最大限に活用し、持続可能な社会を目指す取り組みのひとつとして、EVなどの低炭素型モビリティの導入を推進しています。すでに全国の25箇所のショッピングセンターにEVの充電ステーションを設置しており、昨年12月には小売業として初めてネットスーパー配送車両にEV車を導入するなど、グループをあげて環境負荷軽減の取り組みを進めております。

イオンは、持続可能な社会の実現をめざし、お客さまや地域社会とともに、環境分野や社会分野に関する取り組みを進めてまいります。

※ 「イオンのe c oプロジェクト」 : <http://www.aeon.info/environment/manifesto.html>
イオンは、2020年に向けて「へらそう つくろう まもろう」作戦により、2010年度比でエネルギー使用量50%削減を進めています。また、太陽光発電を中心とした20万kWクラスの再生可能エネルギーを創出する設備を導入し、地球環境、生活環境を考えた持続可能な社会を目指してまいります。

【イオンレイクタウンmoriの設置写真】



【1. 「WAON」カードへの利用者登録について】

- (1)利用者登録開始日 : 2012年11月16日(金)
- (2)利用者登録場所 : 「イオンレイクタウンmorri」(埼玉県越谷市)の1階インフォメーションにて受付。
- (3)利用者登録方法 : お客さまの「WAON」カードをお預かりし、「充電サービス」利用者登録をします。(登録時間は約5分)
- (4)ご利用可能カード・モバイル:
「WAONカード」、「イオンカード(WAON一体型)」、「イオンJMBカード(JMB WAON一体型)」など、すべてのWAONカードおよび「モバイルWAON」などご利用できます。

【2. 「EV 充電サービス」について】

- (1)サービス開始日 : 2013年2月1日(金)
- (2)サービス対象店舗 : 「イオンレイクタウンmorri」(埼玉県越谷市)のEV充電器3台でサービスを開始し、順次全国へ拡大予定。
- (3)サービス内容 : 「WAONカード」による、EV車またはプラグインハイブリッド自動車への充電サービス。
※お客さま情報を「WAONカード」で読み取り、すばやくEV充電します。(充電料金は無料)

【3. 「WAON」の概要】

2007年4月の「WAON」決済サービス開始以来、「いつでも・どこでも・誰でも」気軽にご利用いただける“生活者のマネー”をコンセプトに、イオングループ内外で利用可能箇所を拡大しています。なお、昨年度のWAON年間決済総額は1兆円を超えています。



累計発行枚数 : 約2,840万枚
月間利用件数 : 約5,880万件
月間平均単価 : 約1,680円
利用可能箇所 : 約152,000箇所
(※自動販売機、ドライバー端末約93,000箇所含む)(2012年10月末時点)

以 上